

てヒヤリングし、その結果を地域にかえし、そこで行政の人と、市民、大学の三位一体でその解決の方法などを探るなどできればと思っています。

松本 都留のまちを知らんくなっての感想はいかがですか。

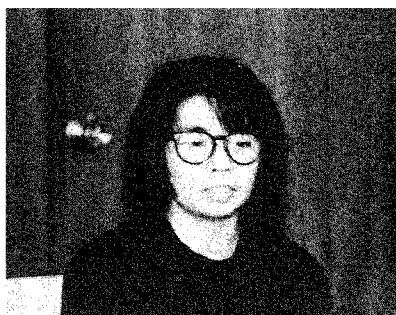
岩見 城下町の面影はなくむしろ自然の美しさがこのまちをカバーしている気がします。また、学園都市、まち全体がキャンパス、これからはほど遠いですが、絵に書いてできるものじゃなくて、目に見えない町づくりが先行していると思います。例えば、ムササビの研究とか、色々な活動があります。これがどこまでで



日比野教授
昭和三年生れ
専門 地方財政

浜高美紀さん

出身 徳島県



きるかで既成的な学園都市でなく、都留独自のアイデンティティを持った学園都市のイメージがでかると思っています。

松本 先生方から、都留の感想、まちづくりのことなど色々うかがいましたが、学生諸君が生活して色々感じていることがあればお話し下さい。

浜高 日用品は、大きな店があるので不自由はしませんが、例えば洋服だとか、もつと店があればいいですね。東京まで出て行くのはつかれまくし、それだけでお金がなくな

なってしまいます。だからもうちょっと商店街があればいいと思います。

松本 まちの景観はどうですか。

浜高 下宿している身ですから、あまり遊ぶような所があったら困るなと思います。そのことを両親と話したんですが、そしたら「よかつたね」と言っただけでした。

堀口 暮らしが、物価もそう高くはありませんが、本屋さんが少ないですね、ですから図書館をもっと整備してもらいたい。

五十嵐 色々な人に不満みたいなことを聞いてみたく



岩見助教授
昭和二十年生れ
専門 都市計画

堀口和哉さん

出身 神奈川県



ですが、富士急行線のことが一番多かったみたいです。それは、大学の前に駅があれば、とても便利になるんじゃないかと思うことです。大学のまわりには、たくさん下宿があるんですが、谷村町駅に行くにも、十日市場駅に行くのにもそうとう遠いんです。ですから大学の前に駅ができた方がいいと思います。

松本 市長さん、社会学科も含め、先生方や学生諸君の紹介をかね、大学そして都留のまちの感想をうかがったわけですが、いかがだったでし

ようか。

市長 みなさまが言われましたように自然を大切にしていかなければならないと思います。また、富士急行線の大学前への駅の設置など、その周辺の整備につきましては、ただいま、専門班を作って真剣に取りくんでいるところです。これには大学の先生方のお力を必要とすることになります。その時は是非お願いします。また、地域社会をフィールドに学ぶ社会学科が、やがて実社会で活躍する人材を輩出する学科として成長、発展することを楽しみにしています。学生のみならずも勉学に励み、卒業後は地域社会のリーダーとなって活躍することを期待します。

みなさんの貴重なご意見、ご感想ありがとうございます。

松本 社会学科もやっと一カ月がたちスタートしたばかりですが、夢多いのと同時にやらなければならぬ課題もたくさんあります。これから長い目で、お互い努力しながら良い学科にして行きたいと思えます。社会学科設置に伴う座談会を終わります。みなさん長時間にわたりありがとうございました。